

高品質な鶏卵の生産を核に、加工、販売、サービスまで多角化経営を行う

養鶏業として高品質な鶏卵の生産を行っており、クイックデリバリーを強みとして鶏卵及び鶏卵加工品流通・販売、飲食・サービスなども含め、6次産業化を展開し幅広い事業を行っている。自社卵を扱うカフェ「ufu uhu garden」、憩いの場として整備した「ufu uhu FARM」のほか、米沢の中心市街地にオープンした飲食店「BANK BOOK BAR」など、多角化経営によりそれぞれの相乗効果を図っている。

- 所在地 山形県米沢市成島町1丁目5-18
- 電話/FAX 023-822-1000/023-822-5250
- URL www.yamada-egg.com
- 代表者 代表取締役 山田 浩樹

- 設立 1975年
- 資本金 2,000万円
- 従業員数 78人



担い手確保

地元農業高校・大学等からの採用と若手社員向け教育の充実

地域密着をモットーに、地元の農業高校から毎年計画的に採用・育成を行っているほか地元のデザイン系大学からの採用も行い、商品開発や資材等のデザイン分野において若者の活躍の場を広げている。また労務の専門家と連携して社員教育、研修を徹底。

特に若手社員が活躍、チャレンジできる職場の環境づくりを実施。効果的なOJT、意見・声・アイデアの吸い上げにより、社内の活性化や生産性向上につながっている。



若手社員のOJT研修、教育の現場

女性を積極的に採用また管理職へ登用し、経営に生かす

食品の安全と品質管理、衛生管理が同社の高品質鶏卵生産のベースである。デリケートな鶏の観察、体調管理などには女性の細やかな心遣い、対応が適している。女性の採用や管理職への登用も積極的。社員の4割が女性で管理職も多い。

特に鶏舎には女性管理職を配置し集卵後の鶏舎清掃を徹底し日々全羽を観察して体調をしっかりとチェックしている。また、カフェなど多角化経営のなかで女性が大いに活躍をしている。



デリケートな鶏の品質管理を女性が行う

若手社員活性化による経営改善の一例

積極的な若手社員の活性化は社内の生産性向上につながる。同社ではインターネットを使った通信販売にも力を入れているが、以前は、通信販売では産みだての卵を発送するため短時間での作業を強いられ出荷数量に限りがあった。

そこで若手を中心にして社内で検討チームを立ち上げ、梱包資材メーカーとともに作業手順を検証。自由な意見や改善提案をもとに発送用の箱を改善することによって出荷数を20%向上することができた。



通信販売の箱詰め作業風景

サービス